

	東北大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：135） 医学系研究科（M：68 D：141） 生命科学研究科（M：106 D：47） 医工学研究科（M：31 D：10） 加齢医学研究所
沿革・設置目的	<p>元文元年(1736年)設置の仙台藩明倫養賢堂の流れを汲み、医学に関する教育・研究を行うことを目的に、宮城県立医学所を母体とし、第二高等学校医学部設置、仙台医学専門学校、東北帝国大学医科大学等を経て、昭和26年(1951年)東北大学医学部として設置された。</p> <p>昭和16年(1941年) 抗酸菌病研究所設置(平成5年(1993年)に加齢医学研究所に改組)</p> <p>昭和22年(1947年) 新制東北大学設置</p> <p><u>昭和26年(1951年) 新制東北大学医学部設置</u></p> <p>昭和30年(1955年) 大学院医学研究科設置(平成6年(1994年)に医学系研究科に改組)</p> <p>平成13年(2001年) 生命科学研究科設置</p> <p>平成16年(2004年) 国立大学法人に移行</p> <p>平成20年(2008年) 医工学研究科設置</p> <p>平成21年(2009年) 加齢医学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 東北大学の理念等に基づき、国内外から広く人材を求め、教育・研究・最先端医療を統合して推進し、国際的に通用する優れた研究者並びに高度な医学的知識及び技術並びに豊かな人間性を備えた指導的な医師等の養成を積極的に推進する。</p> <p>○ がん(特に乳がん、肺がん、白血病等)、脳神経科学、臓器移植等の研究や、障害科学、医工学、加齢医学を含めた生命科学に関する領域・組織横断的な融合研究をはじめとする、基礎医学・臨床医学の各領域における実績を活かし、先端的で特色ある研究や国際的な共同研究等を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。</p> <p>○ 東北地方の橋渡し研究ネットワーク拠点として、基礎研究成果の臨床への橋渡しを強力に支援することにより、研究成果の実用化を推進するとともに、臨床研究中核病院として、国際水準の質の高い臨床研究や難</p>

病等の医師主導治験を推進するための中心的役割を果たし、日本発のイノベーション創出を目指す。

○ 東日本大震災の被災地の地域医療機関の復興支援や地域医療情報連携基盤の構築と一体となった複合バイオバンク事業（東北メディカル・メガバンク事業）の推進や災害科学研究の推進、災害医療人材の育成等により、ゲノム情報に基づいた次世代の医療の実現を目指すとともに、被災地の復興に貢献する。

○ 宮城県における特定機能病院としての取組や、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、難病医療拠点病院等としての取組を通じて、宮城県等における地域医療の中核的役割を担うとともに、広く県内外の医療機関を支える役割を果たす。

さらに、地方自治体、医師会、医療機関等と連携し、宮城県及び東北地方の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。